

花粉症の皮膚症状

花粉症は鼻や眼の症状がよく知られていますが、皮膚にも症状が出現することはまだあまり知られていないようです。

今回は花粉症の皮膚症状についての情報をお届けします。

なぜ花粉症になるの？

花粉症には IgE という抗体が関与しています。花粉症の人は花粉に対する IgE 抗体を有しており、この抗体を介してヒスタミンなどの花粉症を起こす物質が産生され発症するのです。

IgE といえばアトピー性皮膚炎などにも関係するのでは？

その通りです。アトピー性皮膚炎や蕁麻疹でも IgE が関与することは、今までにもお話ししました。花粉が鼻や眼で反応すると鼻水や眼のかゆみなどよく知られた花粉症の症状が出現します。皮膚で反応すると皮膚症状が出現します。

皮膚症状はどこにでるの？

好発部位は、花粉に触れやすい顔面です。皮膚アレルギーにも IgE が関与しているため、アトピー性皮膚炎で顔に症状がある人は花粉症の皮膚症状も出現しやすいのです。具体的には、スギ花粉が飛散している時期にアトピーの顔の症状が悪くなる場合はスギ花粉が増悪因子となっている可能性があります。

花粉症はフルーツアレルギーも誘発する？

はい。花粉フルーツ症候群と呼ばれる病態が存在し、花粉で感作されフルーツを食べると口唇が腫れたり蕁麻疹が出現することがあります。

診断は？

血液検査で花粉に対する IgE を調べます。更に皮膚アレルギーテストで花粉の抗原に対し皮膚が反応するかを調べています。

治療は？

抗アレルギー剤の内服と皮膚症状に対しては症状に応じた外用剤を使用します。症状と経過により、アレルギーに対しての減感作療法を行う場合もあります。花粉症の皮膚症状かな？と思われる方は皮膚科でご相談ください。

文責(森田秀樹)